

(お客様控)

年次点検記録表③(圧縮板積込、強制排出式)

登録番号	初年登録年月	年 月	使用者住所	
シャシ型式	登録年月日	年 月 日	氏名又は社名	印
車台番号	点検年月日	年 月 日	車両管理者印	
走行距離	PJ No.		点検実施場所	
架装型式			点検実施社名	岩手県盛岡市手代森5地割19番地8
製造番号			住所	北日本建機工業株式会社
年次シッカーNo.				電話(019)696-2400
				点検者名

点検項目		点検内容	結果	補修	点検項目		結果	補修
区分	項目(部位)				区分	項目(部位)		
① 油圧装置	油圧ポンプ	異音			③ 安全装置・機能	緊急停止スイッチ	作動確認、スイッチ取付の緩み	
		油漏れ				緊急停止装置	作動確認、損傷具合	
		取付ボルトの緩み				TG降下防止等	TG作動及び警報ブザーの確認	
	油圧シリンダ チェックバルブ	ロッドの傷、メッキ剥がれ				インターロックスイッチ	排出板作動及び警報ブザーの確認	
		油漏れ				TG安全棒	正常な作動の確認、変形確認	
		取付部の異常				積込サイクル	封印の確認	
	作動油	タンク内の油量(サイクル完了状態)				時間の確認	積込サイクル時間確認(秒)	
		汚れ(色)				バックブザー	車両後退時、警報音を発するか	
		タンク内ストレーナの清掃				TG警報ブザー	TG上昇下降中警報音を発するか	
	ゴムホース	ラインフィルターの定期交換				連絡用ブザー	正常に作動するか	
		接触等による外部損傷の有無等				TGロック装置	フック掛かりタイミングは正常か	
		油漏れ、表面の劣化、割れ等				④ 伝動制御	PTO及び	断・接切替はスムーズで確実か
締め付けの緩み			コントロール関係	切替時の異音等はないか				
油圧パイプ	油漏れ、他との接触			⑤ 積込	駆動軸及び	リフトワイヤーの損傷、引き角度		
継手	配管クランプの緩み、継手部の緩み				ユニバーサルジョイント	異音、振れ、ガタ、取付ボルト緩み		
油圧バルブ チェックバルブ	油漏れ				ブローラシヤブ給脂			
	取付ボルトの緩み				積込バルブの作動確認			
	作動				シリンダアームの曲がり、亀裂			
② 電気コントロール装置	積込用スイッチ	後部操作盤のスイッチの作動確認			⑥ 排出	排出板作動	軸受部ブッシュ摩耗、ガタ、ピン回り止め	
		防水ゴムカバーの損傷					排出板の作動はスムーズか	
		取付の緩み					排出板スプリングの摩耗は限度内か	
	積込コントロール	コントロールボックス取付ボルトの緩み			⑦ TG作動	テルゲート作動	排出板がドレイン、ガイドレールの曲がり、亀裂	
		リレータイマーの緩み					TG上昇、下降作動	
		近接スイッチ・リミットスイッチ取付の緩み					TG支点、シリンダ支点亀裂、緩み	
	排出コントロール	キャブ内積込スイッチの作動			⑧ その他	その他	自動ロックのフックガタ、ロッドの変形	
		安全確認スイッチの緩み					ロッキングピンの緩み、締め具合	
		テルゲート降下確認スイッチの緩み					フックの掛かりは左右均等か	
		近接スイッチの作動					フック、ロッキングラグ摩耗は限度内か	
		キャブ内排出板操作スイッチの作動					TGの自然降下は過大でないこと	
		キャブ内テルゲート操作スイッチの作動					テルゲート	曲がり、亀裂、錆び
配線	接触損傷、配線劣化、コネクタ腐食			ボデー	曲がり、亀裂、錆び、汚水漏れ			
ロータリソレノイド	取付ボルト、アームのガタ、緩み			サブフレーム固定	シャシとの緊締ボルトの緩み			
				スペアタイヤキャリア	取付ボルトの緩み、ぐらつき			
				汚水漏れ	汚水パッキンの損傷			
				給油脂	各部のグリス給油及び適油			
				⑨ 特別項目	不正改造	ガイドロー給油	グリスがはみ出るまで給油されたか	
						注意銘板類	各銘板は所定位置に貼ってあるか	
						カバー等の固定	ボルト類、消火器に緩みは無いか	
							不正改造箇所は無いか	

記事

備考 検査結果、補修欄は下の各記号により記入し、詳細を要するものについては次の補修欄に記入する。また、本記録表は3年間保存する。

記号					補修等の措置内容				
確認	修理	締付	清掃		区分No.	補修箇所	補修月日	補修の方法	部品取替えの状況等
レ	△	T	C						
欠品	調整	取替	分解						
欠	A	X	W	L					
				該当無					